

### 『とべたよ とべたよ』

わかやま しずこ/さく

どうしんしゃ  
童心社



ぴこっ。ことりがうまれました。おなががすいたら おおきなくちをあけて おかあさんやおとうさんが えさをもってきてくれるのをまちます。ことりたちは おおきくなって、ついに じぶんでとぶときが やってきました。

### 『じぶんでできた！お弁当の本』

すぎさき さとみ ちょ たけした かすお かんしゅう  
杉崎 聡美/著 竹下 和男/監修

しゅつぱん 596入



お弁当って、じつはかんたんに作ることができるんです。まずは冷凍食品を弁当箱につめるところから始めてみましょう。献立を考えたり、ご飯を炊いたり、おかずをつくったり。できることを少しずつ増やして行って、食べたいお弁当をじぶんで作ってみませんか？

### 『ガラスのなかのくじら』

トロイ・ハウエル、

リチャード・ジョーンズ/作

しいな 椎名 かのる/訳



すいそうにすむ くじらのウェンズデーは、ガラスのなかしか しりません。あるひ、うんとたかくジャンプすると、とおくのほうに あおいものがみえました。そのすてきなブルーをみると、ウェンズデーは なんだかどきどきするのです。

### 『ラビットホッピング！』

うさぎがぼくのパートナー！？』

マーリン・エリクソン/作

きただい えりこ/訳

もりやま しなこ え りろんしや  
森山 標子/絵 理論社 949I



ママもパパも病気の 妹 につきっきりで、ぼくはおじいちゃんちにやってきた。そこで出会ったうさぎのブリーダーのイラストに「ラビットホッピング」を教えてもらった。うさぎはとても敏感で、ぼくの気持ち がまるでわかるみたいなんだ。

## あたらしいことに



## チャレンジ！

### 『まかしとき！』

くすのき しげのり/作

のし さやか/絵

フレーベル館



ななえちゃんは、おてつだいを したことがほとんどありません。あるひ、いえにかえたら、おばあちゃんが うでにけがをしていました。「そうや！こんなときこそ！」ななえちゃんは せっせせっせとなれないおてつだいを はじめました。

### 『かえでちゃんとひみつのノート』

おおくほ うさぎ さく うえだ まこと え  
大久保 雨咲/作 植田 真/絵

こみねしよてん  
小峰書店 913J



ぼくは、もじゃりんといひます。かえでちゃんのため息といっしょに生まれました。かえでちゃんはあるあたらしい学校に行くことになったみたい。でも、あたらしいともだちをつくるのは、なんだかちょっとたいへんそうです。

### 『ドラゴンのお医者さん』

ジョーン・プロクター は虫類を愛した女性』

パトリシア・バルデス/文

フェリシタ・サラ/絵

はっとり りか やく  
服部 理佳/訳 2897



ジョーン・プロクターはトカゲやワニが大好きな、ちょっと変わった女の子。大きくなって学ばい眞の助手として はたらきはじめると、ジョーンはその豊富な知識で 大かつやくしました。その後も、珍しいコモドラゴンの研究や、は虫類の展示で注目を集めていきます。

### 『あんよ あんよ』

なかがわ  
中川 ひろたか/ぶん

ささめや ゆき/え

あかね書房



パンダちゃん いち に。おさるさんが ぴよん。いろんなどうぶつが あんよ あんよ しているよ。みんなもじょうずに あんよ あんよ できるかな。